

Cryopreservation Conference 2017

プログラム

11月1日(水)

09:00 - 09:30 受付
09:30 - 09:40 開会の挨拶 成瀬 清(基礎生物学研究所 IBBPセンター長)

セッション 1

座長: 菊地 和弘

- 09:40 - 10:10 生物の凍結障害発生機構からみた凍結保存法の役割
藤川 清三(北海道大学)
- 10:10 - 10:30 魚類卵子の高浸透圧傷害メカニズムー凍結保存の成功に向けてー
枝重 圭祐(高知大学 農林海洋科学部)
- 10:30 - 10:50 両性電解質高分子および双性イオン型高分子による細胞凍結保護効果
松村 和明(北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科)
- 10:50 - 11:10 ラッキョウ由来フルクタンによる無血清培地馴化細胞の凍結と細胞機能
寺田 聡(福井大学 工学部)
- 11:10 - 11:25 インクジェットを利用したCPAフリー細胞凍結保存法の確立
秋山 佳丈(信州大学 繊維学部)
- 11:25 - 11:45 農業生物遺伝資源の新規超低温保存法の開発
田中 大介(国立研究開発法人 農研機構 遺伝資源センター 保存技術・情報チーム)
- 11:45 - 13:00 昼食

ポスターセッション

- 13:00 - 13:30 ポスター番号: 奇数
13:30 - 14:00 ポスター番号: 偶数
- 14:00 - 14:15 写真撮影・休憩

セッション 2

座長: 藤川 清三

- 14:15 - 14:45 ガラス転移研究の最近の進展
宮崎 州正(名古屋大学 理学研究科 物質理学専攻)
- 14:45 - 15:15 グリセロールの常圧低温と常温高圧下のガラス状態の研究
小島 誠治(筑波大学 数理物質系 物質工学域)
- 15:15 - 15:25 休憩

セッション 3

座長: 成瀬 清

- 15:25 - 15:45 理研バイオリソースセンターにおける細胞材料の収集保存と新規細胞材料の開発について
須藤 和寛(国立研究開発法人 理化学研究所バイオリソースセンター 細胞材料開発室)
- 15:45 - 16:05 バイオリソースセンターにおける実験動物の生殖工学技術の開発
井上 貴美子(国立研究開発法人 理化学研究所バイオリソースセンター 遺伝工学基盤技術室)
- 16:05 - 16:25 国立環境研究所における絶滅危惧種の遺伝資源保存活動
大沼 学(国立研究開発法人 国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター)
- 16:25 - 16:45 Cryopreservation of embryos and oocytes for gene banking in pigs
Somfai Tamas(国立研究開発法人 農研機構 家畜育種繁殖研究領域家畜胚生産ユニット)

懇親会 17:30 - 19:30

11月2日(木)

セッション 4

座長：田中 大介

- 09:30 - 09:45 超低温保存精原細胞由来のメダカ近交系および野生地域集団の復元
関 信輔(秋田大学 バイオサイエンス教育・研究サポートセンター)
- 09:45 - 10:00 サケ科魚類における凍結保存精子の運動性と精液性状
藤本 貴史(北海道大学 大学院水産化学研究院 海洋応用生命科学部門 育種生物学分野)
- 10:00 - 10:15 ラットにおける胚の凍結保存
金子 武人(岩手大学 大学院総合科学研究科理工学専攻)
- 10:15 - 10:30 ミズワラビならびにクルマエビの予備凍結法による超低温保存の試み
三國 智葉(東京電機大学大学院 理工学研究科)
- 10:30 - 10:45 休憩
- 10:45 - 11:00 絶滅危惧種オガサワラグワのガラス化保存
遠藤 圭太(国立研究開発法人 森林総合研究所 林木育種センター 遺伝資源部)
- 11:00 - 11:15 単為結果性トマトの超低温保存技術の開発
細川 宗孝(京都大学大学院 農学研究科)
- 11:15 - 11:30 タンパク質の長期乾燥保存への挑戦: ネムリユスリカの細胞を用いて
黄川田 隆洋(国立研究開発法人 農研機構 生物機能利用研究部門)
- 11:30 - 11:45 カイコ除殻卵胚子の保存に適したガラス化液の検討
福森 寿善(九州大学大学院農学研究院 遺伝子資源開発研究センター 家蚕遺伝子開発分野)
- 11:45 - 12:00 ナミテントウの卵巣凍結保存の試み
新美 輝幸(基礎生物学研究所 進化発生研究部門)
- 12:00 - 12:05 閉会の挨拶 藤川 清三(北海道大学)

施設見学 13:00 - 17:00